

2023年 GDP 国際順位で日本は62年振りにドイツに抜かれ4位となることが確定したとのニュースが入り、また同様一人当たり GDP でも前年20位からランクを一つ落として21位になったとのニュースもありました。私は今年も1月に3週間日本に滞在し、ビジネスの合間に仙台・松島など各地を旅行して改めて日本の素晴らしさ、美しさ、日本人の親切心、整列乗車を当たり前になす民度の高さや治安の良さなどに改めて感動いたしました。GDP 順位が何位だろうと関係ありません。日本は世界で最も素敵な国です。



仙台 松島



東名高速からの富士山 38年振りに観ました

ドイツに戻ってから連日のように、ドイツ、欧州のEV（電気自動車）・自動車産業に関する市場変化が報道されています。日独ともに自動車産業は産業の中核とあっていい存在です。今回は自動車産業を巡る最近の状況を書いてみたいと思います。

ベンツ博物館の最初の展示物は馬です。続いてそれを代替することに成功した最初のガソリン車が展示されています。以降100年以上、内燃機関といえばガソリンエンジン、ディーゼルエンジン、そしてガソリンの代わりにLPGを燃料とするくらいしかバリエーションは存在しませんでした。



Daimler の最初のガソリン車



メルセデスと名付けられた最初のモデル

トヨタに代表される日本製ハイブリッド車は過去20年来、現在も進化を続けています。

トヨタは多くの特許を公開しますが、技術的には敵わないと考えた欧州メーカーはクリーンディーゼルと命名した技術で対抗を試みます。臭素触媒を添加する独自技術のハズでしたが、2015年、そんなVW製ディーゼル車の高性能を実証しようとしたアメリカの大学生の研究からデータの偽造が発覚、VWとディーゼル車への信頼は失われてしまいます。実測データが余りにカタログと乖離していた学生たちは自分たちの計測が間違っていたのではないかと考え、その検証を外部に委託したのです。いわゆるディーゼルゲート事件です。発覚のきっかけとなった検査機器には堀場製作所製の部品が使用されていたと聞いています。一時期50%を超えたディーゼル車比率は現在25%程度となっています。VWは州政府が出資する半官半民企業なので、莫大な補償金を支払って何とか倒産を逃れます。そして着目したのがEVです。

市場まかせでは日本製ハイブリッド車を駆逐できないと悟ったドイツ自動車産業界は政府を動かします。そして2035年以降、ハイブリッドを含む内燃機関車の販売禁止を法制化してしまいます。EU各国もほぼ同様の決定をします。自動車・機械・化学というドイツの三大輸出産業のひとつを放棄する世紀の愚策と思います。



VW ID3



Porsche Taycan

いつか来た道です、1980年代、HONDAがF1レースで常勝していたころ、ターボ禁止に始まって毎年のように車両規則を変えたり、最近ではノルディックスキー複合競技で、ジャンプに強い日本が不利となる配点変更があったりしたそうです。とある欧州自動車メーカー社長は公然と私達がルールを作る、それに従って未来を創るといったそうです。

残念ながら今日も続く欧州至上主義、白人至上主義はDNAレベルです。補足ですが2023年、HONDAはレッドブルチームにエンジン供給して、何と22戦21勝という勝率95%を達成します。全盛期以上の活躍ですが、車体が日本車でないこと、日本人ドライバーでないことなどからF1に関するニュースは日本ではほとんど報道されていません。残念ですね。今後もF1での新たなHONDA排除ルール、ガソリンハイブリッド車へのトヨタ車排除ルールが制定されることは確実と思います。

長期的視点ではEVにも未来はあると思います。EV、ハイブリッドに関わらず魅力的な車を市場に出して競争することこそが健全な自動車産業成長の王道だと思います。補助金で100%近いEV化を達成したノルウエーや400社ものEVメーカーが乱立、倒産、各地にEV墓場があるという中国の悲惨な現状は他山の石とすべきと思います。

前述通り、2035年以降の内燃機関車の製造販売を禁止したドイツですが、エンジン本体や変速機に関わる分野だけでも相当な分野の失業が予想されます。そこに登場したe-

Fuel, 合成燃料を幸いとして、政策を転換します。現在、ドイツ連立政権与党の緑の党は環境保護を訴えた党提のため表立って 2035 年リミットを撤回できないのですが、EV の抱える諸問題の解決にはまだまだ時間がかかり、結局ドイツとして e-Fuel 対応の内燃機関車は例外との政策変更を決定します。誰にも簡単に想像できますが、事実上のエンジン車禁止解除、将棋でいうところの負けました、宣言ですね。合成には電力が必要なことから e-Fuel と呼ばれる所以です。現状リッター当たり 400 円以上と言われる製造コストの低減が課題です。



CO2 と水素から合成燃料を生成するプロセス

2035 年以降エンジン車の新規登録禁止

GDP 総額では人口で中国を抜いたインドが間もなく三位に浮上、日本は 4 位をキープ、といったところでしょうか？ e-Fuel とは何でしょうか、トヨタと出光石油が開発、研究中の全個体電池、ドイツの自動車メーカー各社の今後の戦略、本来は有望な EV の市場だったはずの中国からの逆攻勢、ノルウエーの実情、TESLA の欧州戦略など、自動車産業に関連したトピックを続報したいと思います。